

Tsuyama College	Year	2018	Course Title	英語表現 I
-----------------	------	------	--------------	--------

Course Information

Course Code	0010	Course Category	General / Compulsory
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 2
Department	Department of Integrated Science and Technology Advanced Science Program	Student Grade	1st
Term	Year-round	Classes per Week	2
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：文部科学省検定教科書 Revised Vision Quest English Expression 1 Standard 参考書等：Vision Quest 総合英語Ultimate, Revised Vision Quest Standard ワークブック, Revised Vision Quest Standard生徒用音声CD, Revised Vision Quest Standard高校英語入門New Edition, Sonic Reading Stage①		
Instructor	YAMAGUCHI Hitoshi		

Course Objectives

1. 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。
2. 高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することができる。
3. 英文を正しく音読することができる。
4. 学習内容をふまえて英語で自己表現ができる。
5. 英語運用能力のスキルを高め、自己評価を学習改善に活用することができる。

Rubric

	優	良	可	不可
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることが十分にできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることがおおむねできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができない。
評価項目2	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することが十分にできる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することがおおむねできる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することが最低限できる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することができない。
評価項目3	英文を正しく音読することが十分にできる。	英文を正しく音読することがおおむねできる。	英文を正しく音読することが最低限できる。	英文を正しく音読することができない。
評価項目4	学習内容をふまえて英語で自己表現が十分にできる。	学習内容をふまえて英語で自己表現がおおむねできる。	学習内容をふまえて英語で自己表現が最低限できる。	学習内容をふまえて英語で自己表現ができない。
評価項目5	自らの英語運用能力やスキルの自己評価ができ、学習改善に活用することが十分にできる。	自らの英語運用能力やスキルの自己評価ができ、学習改善に活用することがおおむねできる。	自らの英語運用能力やスキルの自己評価ができ、学習改善に活用することが最低限できる。	自らの英語運用能力やスキルの自己評価ができ、学習改善に活用することができない。

Assigned Department Objectives

Teaching Method

Outline	一般・専門の別：一般 必修・必履修・履修選択・選択の別：必履修 学習の分野：英語 基礎となる学問分野：英語・英米文学／言語学・音声学 学習教育目標との関連：本科目は「①教養豊かな実践的人間力の育成」、「⑤グローバルな視点と社会性の養成」、「⑦コミュニケーション・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成」であるが、付随的には「(B)地球の視野に立った人間性の育成」に関与する。 授業の概要：教科書の内容・文法の順に学習し、スピーキング、ライティングの表現活動を行う。またそのためのスキルを磨き、自己評価力を高める。
Style	授業の方法：授業では、教材の内容理解はもとより、音読活動や表現活動など様々な活動をペアやグループなど様々な形態で行うことが中心であり、積極的な参加が望まれる。またスキルの向上と自己評価にも取り組む。 成績評価方法：4回の定期試験の結果を同等に評価する(50%)。「演習課題、音読・表現テストなどのパフォーマンス評価、自己評価等」(50%)との総合計により評価する。最終成績に関しては、4回の評定の平均を9割に換算して、GTECライティングパートの結果を10%加算する。再試は原則として行わない。
Notice	履修上の注意：課程修了のため履修が必須である。 履修のアドバイス：授業での取り組みはもとより、予習・復習の指示に従い、期限を守り取り提出物に組むこと。 基礎科目：中学までの英語授業 英語 I (1年) 受講上のアドバイス：積極的に発言し、活動へ参加すること。遅刻について：授業時間の5分を過ぎての入室は欠課扱いとする。遅刻が頻繁な場合、欠課に換算することがある。

Course Plan

		Theme	Goals
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス Lesson 1 1年間の学習方法について理解し、学習計画の見通しを立てられる。 紹介に関する英文が理解できる。
		2nd	Lesson 1 文の種類に関する文法がわかり、自己紹介文が書ける。
		3rd	Lesson 2 興味・関心に関する英文が理解できる。
		4th	Lesson 2 文型と動詞に関する文法がわかる。 興味・関心に関する自己表現ができる
		5th	Lesson 2 Show & Tell のスキルが理解できる。
		6th	Lesson 3 旅行に関する英文が理解できる。
		7th	Lesson 3 時制に関する文法が理解できる。 旅行に関する自己表現ができる。
		8th	前期中間試験 学習内容の習熟度が確認できる

2nd Semester	2nd Quarter	9th	前期中間試験の返却と解答解説, Lesson 4	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる。スポーツに関する英文が理解できる。
		10th	Lesson 4	完了形に関する文法が理解でき、スポーツに関する自己表現ができる。
		11th	Lesson 5	食事に関する英文が理解できる。
		12th	Lesson 5	助動詞に関する文法を理解し、食事に関する自己表現ができる。
		13th	Lesson 6	観光に関する英文が理解できる。受動態に関する文法を理解できる。
		14th	Lesson 6	観光に関する自己表現ができる。Lining Wordsのスキルが理解できる。
		15th	前期末試験	学習内容の習熟度が確認できる
		16th	前期末試験の返却と解答解説 (夏季休業中の課題Lesson 7、8 解説)	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる。交際・娯楽に関する英文が理解できる。
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Lesson 7、8 答え合わせと課題提出	不定詞・動名詞に関する文法を理解し、交際・娯楽に関する自己表現ができる。
		2nd	Lesson 9	ルールに関する英文が理解できる。
		3rd	Lesson 9	分詞に関する文法が理解できる。
		4th	Lesson 9	ルールに関する自己表現ができる。
		5th	Lesson7～9のまとめ	パラグラフのスキルが理解できる。
		6th	後期中間試験	学習内容の習熟度が確認できる
		7th	後期中間試験の返却と解答解説, Lesson 10	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる。文化に関する英文が理解できる。
		8th	Lesson 10	関係詞に関する文法が理解できる。
	4th Quarter	9th	Lesson 10	文化に関する自己表現ができる。
		10th	Lesson 11	社会問題に関する英文が理解できる。
		11th	Lesson 11	比較に関する文法が理解できる。
		12th	Lesson11, Lesson 12	社会問題に関する自己表現ができる。悩み事に関する英文が理解できる。
		13th	Lesson 12	仮定法に関する文法が理解できる。
		14th	Lesson 12	悩み事に関する自己表現ができる。
		15th	後期末試験	学習内容の習熟度が確認できる
		16th	後期末試験の返却と解答解説	テストを振り返り、課題を見つけ、次年度の学習計画の見通しが立てられる。

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	課題	自己評価	Total
Subtotal	50	10	30	10	100
総合評価能力	0	0	0	0	0
基礎的能力	50	10	30	10	100